

山梨大が院生派遣
 ビジネスネット
 風林火山

山梨大が院生派遣

連携協定 受注サイト改良

中小企業向け受注サイト運営の風林火山ビジネスネット（BN）は十五日、山梨大学と連携協定を結んだと発表した。大学院生のインターンシップ（職場体験）を長期間受け入れ、サイトの効率化を共同で研究する。行動心理学などに基づく専門的な研究を生かし、サイトの販路開拓機能を向上させる狙いだ。

山梨大が学生を企業に長期派遣し、共同研究させる「教育・研究レゾナンス連携」の一環。情報工学専攻の大学院一年生二人が昨年十一月から参加。まず、BNが運営する



る仮想商店街「山梨甲斐もの市場」の機能向上に取り組み。学生は日常的には大学で同サイトの分析を進め、B

業に出かけて担当者に直接取材し、改良策の指導なども行う。

BNには現在、百七十三社が登録する。共同研究によりサイトが活性化すれば、登録企業の受注拡大や新販路開拓に結び付く。上野政巳・運営委員長は「各社が技術・製品開発で山梨大と連携するきっかけにもなる」とみている。

山梨大のレゾナンス連携は十二社目だが、従来の相手先は製造業だけだった。担当の木野村暢一教授は「BNとの協定を契機に、連携先の幅が広がる」と期待する。